# 負荷の低い時間帯で **Storage Efficiency** 処理を実行

Active IQ Unified Manager 9.12

NetApp
October 16, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-912/performance-checker/concept_what_storage_efficiency_is.html on October 16, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

負荷の低い時間帯で Storage Efficiency 処理を実行 . . . . . 1
Storage Efficiency とは . . . . . 1

# 負荷の低い時間帯で Storage Efficiency 処理を実行

Storage Efficiency 処理に適用されるポリシーやスケジュールを変更して、影響を受けるボリュームワークロードの負荷が低いときに Storage Efficiency 処理を実行するように設定できます。

Storage Efficiency 処理では、大量のクラスタ CPU リソースが使用されて、処理を実行するボリュームの負荷が高くなることがあります。Storage Efficiency 処理の実行中に、影響を受けるボリュームでアクティビティレベルが上がると、レイテンシが高くなってイベントがトリガーされる可能性があります。

イベントの詳細ページのシステム診断セクションに、 QoS ポリシーグループ内のワークロードがアクティビティのピーク偏差で表示され、 Bully ワークロードが特定されます。表の上部に「 storage efficiency 」と表示された場合は、この処理が当該ワークロードの負荷を高めています。これらのワークロードの負荷が低いときに実行されるように効率化ポリシーまたはスケジュールを変更すれば、 Storage Efficiency 処理を原因とするクラスタの競合を回避できます。

ONTAP System Manager を使用して効率化ポリシーを管理できます。効率化ポリシーとスケジュールの管理には、 ONTAP コマンドを使用します。

## Storage Efficiency とは

Storage Efficiency を使用すると、低コストで最大限のデータを格納し、スペースを節約しながら急増するデータに対応することができます。ネットアップのストレージ効率化戦略は、コアオペレーティングシステムである ONTAP と Write Anywhere File Layout （ WAFL ）ファイルシステムが提供するストレージ仮想化とユニファイドストレージに基づいています。

Storage Efficiency では、シンプロビジョニング、 Snapshot コピー、重複排除、データ圧縮、 FlexClone 、 SnapVault および Volume SnapMirror 、 RAID-DP 、 Flash Cache 、 Flash Pool アグリゲート、および FabricPool 対応アグリゲートを使用したシンレプリケーション。ストレージ利用率の向上とストレージコストの削減に役立ちます。

ユニファイドストレージアーキテクチャでは、 Storage Area Network （ SAN ；ストレージエリアネットワーク）、 Network-Attached Storage （ NAS ；ネットワーク接続型ストレージ）、および単一プラットフォーム上のセカンダリストレージを効率的に統合できます。

Serial Advanced Technology Attachment （ SATA ）ドライブなどの高密度ディスクドライブを、 Flash Pool アグリゲート内で、または Flash Cache や RAID-DP テクノロジを使用して構成すると、パフォーマンスと耐障害性を低下させることなく効率性を向上させることができます。

FabricPool 対応アグリゲートには、ローカルのパフォーマンス階層としてのオール SSD アグリゲートまたは HDD アグリゲート（ ONTAP 9.8 以降）と、クラウド階層として指定するオブジェクトストアが含まれます。FabricPool を設定すると、アクセス頻度に基づいてデータを格納するストレージ階層（ローカル階層またはクラウド階層）を管理する際に役立ちます。

シンプロビジョニング、 Snapshot コピー、重複排除、データ圧縮、 SnapVault と Volume SnapMirror を使用したシンレプリケーション、 FlexClone などのテクノロジは、さらに削減効果を高めます。これらのテクノロジを個別に、または組み合わせて使用することで、ストレージ効率を最大限に高めることができます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。